

【タイ】

11-12月の市場動向トピックス

- 2019年11月の訪日タイ人数は、前年同月比36.3%増の140,300人で、11月として過去最高を記録。
- 2019年12月の訪日タイ人数は、前年同月比28.5%増の164,900人で、単月として過去最高を記録。
- 日本の地方都市を着地とする航空路線や格安航空会社の新規就航、増便等による航空座席供給量の拡大に加え、継続的な訪日プロモーションの効果もあり、訪日者数はそれぞれの月で過去最高を記録し、12月は年間最大の旅行シーズンであるソンクラーン(タイ正月)休暇のある4月と同水準となった。訪日者数は、2019計で初めて130万人を突破し、前年比16.5%増加となった。

11-12月の主なプロモーション活動

- 11月8日～10日にかけて、バンコクにてJNTOの主催による訪日旅行フェア「Visit Japan FIT Fair 2019(第13回FITフェア)」を開催し、約5.6万人が来場した。同フェアでは、日本側からインバウンド関係団体・企業が59団体、タイ側から航空会社、旅行会社等39団体が出展し、訪日旅行に関するPRや商品販売を行った。また、タイの有名人や出展者によるステージ、訪日航空商品の購入者へのギブアウェイキャンペーン、訪日航空券の当たる抽選会、訪日旅行相談コーナー、全国各地のスノーアクティビティ紹介コーナー等を実施し、冬季の訪日旅行促進を図った。



- 12月11日～15日にかけて、タイ人のタレント Golf-Pichaya 氏と Four-Sakolrat 氏を宮城、山形、福島 の3県に招請し、動画撮影を行った。仙台市、肘折温泉、加茂水族館、鶴岡市、米沢市、郡山市、東山温泉、白石城等を訪れた。行程中では、こけし作り、そば打ち、スノーシュー、和太鼓等の地域ならではの体験型アクティビティも収録し、今後のプロモーションに活用する予定。

